LRQA独立保証声明書

京セラ株式会社の統合報告書 2025 及びサステナビリティ WEB サイトに掲載される 2024 年度の環境･社会データに対する保証

この保証声明書は、契約に基づいて京セラ株式会社に対して作成されたものであり、報告書の読者を意図して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド （以下、LRQA という） は、京セラ株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、統合報告書 2025 及びサステナビリティ WEB サイトに掲載される京セラグループの 2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）のサステナビリティ活動に関する開示情報（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000 (改訂版)及び GHG については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的保証水準の保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社とその国内外の連結対象子会社における運営及び活動[1] [2]に対して、以下の要求事項を対象とする。

- GHG プロトコルに沿って会社の定めた報告手順への適合性の検証
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価 [3]

環境データ [1,3]

- スコープ 1 GHG 排出量合計 (tCO_2e)
  エネルギー起源、及び非エネルギー起源
- スコープ 2 GHG 排出量合計 [マーケット基準主体] (tCO_2e)
  電気の使用起源、及び蒸気・温水の使用起源
- スコープ 2 GHG 排出量合計 [ロケーション基準] (tCO_2e)
- スコープ 3 GHG 排出量 (tCO_2e)
  カテゴリー1 及び、カテゴリー2 (tCO_2e)
- 総エネルギー消費量 (MWh)
- 非再生可能エネルギー量(MWh)
- 再生可能エネルギー量 (MWh)
- 取水量合計、市水取水量、地下水取水量、工業用水取水量（千㎥）
- 排水量（千㎥）
- 廃棄物総排出量(トン)
- 有害廃棄物総排出量 (トン)
- 非有害廃棄物総排出量 (トン)

社会データ [2,3]

- 女性管理職比率
- 男性育休取得率
- 男女間賃金差異(全労働者、正規雇用、パート・有期労働者)
- 業務上死亡者数

[1] スコープ 1・スコープ 2 GHG 排出量、総エネルギー消費量、非再生可能エネルギー量、再生可能エネルギー量、取水量、排水量、廃棄物総排出量、非有害廃棄物総排出量及び有害廃棄物総排出量は、京セラ株式会社及び国内外グループ会社の 87 生産工場を対象とする。スコープ 3 GHG 排出量は、京セラグループ全体を対象とする。GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる

[2] 業務上死亡者数、休業災害度数率、業務上疾病度数率は京セラ株式会社及び国内グループ会社 5 社を対象とする。女性管理職比率、男性育休取得率、男女間賃金差異は京セラ株式会社を対象とする。

[3] 統合報告書 2025 及びサステナビリティ WEB サイトにおいて✓を入れた項目について、保証業務を実施した。

- 休業災害度数率
- 業務上疾病度数率

LRQA の保証業務は会社のサプライヤー、業務委託先、及び報告書で言及される第三者に関するデータや情報は対象としていない。

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 環境・社会データに関して自ら定める基準に従って報告書を作成していない
- 正確で信用できる環境・社会データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。
この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準[4]、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

保証手続

LRQA の保証業務は、ISAE3000 (改訂版)と GHG については ISO14064-3:2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

環境・社会データ

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプリング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2024 年度の環境・社会データに関する記録および情報の検証を行った。
- 京セラ株式会社・京都綾部工場及び鹿児島国分工場を訪問し、データの収集及び記録管理の実施状況の確認を行うと同時に、敷地範囲において主要設備と計測地点の現場確認を実施した。

観察事項

・ステークホルダーの関心を考慮し、再生可能エネルギー発電量及び導入量を大幅に拡大していることについて、良い取り組みとして評価できる。
・法的届け出数値と、統合報告書及び WEB での公開データの間の整合性が向上していることが評価できる。

基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065 “温室効果ガスー認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価ーマネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項 – 第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、

[4] *限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。*

維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。

全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAが組織に対して提供している業務はこの検証のみであり、そのため我々の独立性あるいは中立性が損なわれることはない。

署名　　2025 年 8 月 30 日

署名
安本　潤
LRQA 主任検証人（環境）

署名
小田村 尚
LRQA 主任検証人（社会）

LRQA リミテッド
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1　クイーンズタワーA 10F

LRQA reference: YKA00001069

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.
The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2025.